



惜陰の子ら

令和6年1月
鯖江市惜陰小学校
学校だより NO.41
3学期スタート号

3学期始業式 1/9(火)

夢（幸せ）のおすそ分け

あけましておめでとうございます。17日間の冬休みが終わり、今日から3学期が始まります。

この17日間に、お隣の石川県で大きな地震があったことを皆さんは知っていますね。1月1日、夕方の4時10分頃、能登半島で最大震度7の地震が起きました。福井県の揺れは震度5強だったそうですが、今まで経験したことのない大きなそして長い揺れにすごい恐怖を感じました。震度7の揺れがどのくらい大きかったのか、そこにいた人たちがどれほど怖い思いをしたかは、テレビに映し出される倒れた家や道路の地割れなどから想像することしかできません。

始業式の前に、私たち全員で黙禱をしましたが、亡くなった方のご冥福を心からお祈りするとともに、家族や知り合いの方を亡くされた方の心の傷が癒されますよう、また、道路や家が元通りになり、避難所で生活している方々が自宅に戻れる日が一日でも早くくることを心から願いたいと思います。そして、今ここにこうやっていることは当たり前ではなく、有り難いことだとかみしめながら毎日を過ごしましょう。

さて、2024年、皆さんのお正月はどうでしたか？お正月に、家族や親せきの方からお年玉をもらえましたか？惜陰小学校にも新年早々、お年玉が2つ届きました。

1つ目は、皆さんの先輩である、前田鎌利さんが、惜陰小学校の校歌を書いてくださいました。体育館の右側の壁には、校歌の歌詞の額がかかっていますが、実は破れかけています。鎌利さんが11月に来られた時に、「もし良かったら校歌の歌詞を書き直してもらえませんか？」とお願いしていたのですが、まさか本当に書いてくださるとは思っていませんでした。1月4日に届いたものを見て、びっくりしたのと同時に、惜陰小学校や児童の皆さんへの熱い思いを感じて本当に嬉しかったです。卒業式までには新しい校歌の額を飾りたいと思っています。

2つ目は、大谷翔平選手からのグローブです。大谷選手といえば、アメリカのメジャーリーグで活躍するスター選手で、その輝かしい成績は、皆さんも知っていると思います。その大谷選手が「野球しようぜ！」と日本全国の小学校に6万個のグローブをプレゼントしてくれました。惜陰小学校には1月5日に届きました。グローブのお披露目は、始業式の後で行いますので、楽しみにしてください。

前田鎌利さんも、大谷翔平選手も、小さいころから自分の好きなことや得意なことを続けてその道で一流になるためにコツコツと努力を重ねて、自分の夢をかなえることができた素晴らしい方々です。そして夢をかなえただけではなく、その夢をおすそ分けするという行動で周りの人をより幸せにしたいと考えているところが本当に素晴らしいと思います。

お正月にいただいた2つのお年玉から、校長先生も「人が幸せになるために何かできることがないか」ということを改めて考えることができました。暗いニュースでスタートした2024年は辰年ですが、辰年は天高く舞い上がる龍に守られる年で、新しいことに挑戦するとよい年だそうです。自分の可能性を信じ、次の学年に向けて、龍のように力強く挑戦していく皆さんの活躍を楽しみにしています。

大谷翔平選手 グローブお披露目



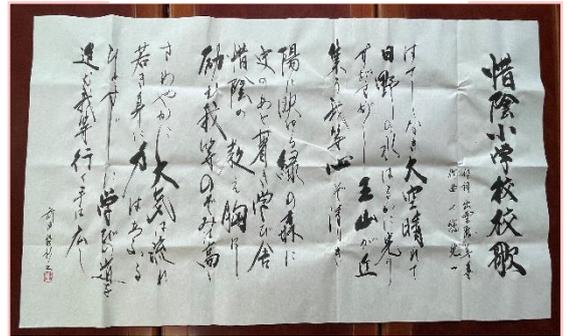
～大谷翔平選手からのメッセージ～

(前略) この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらえれば幸いです。この機会に、グローブを寄贈させていただけることに感謝し、貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。 **「野球しようぜ」**



鯖江野球スポーツ少年団の5, 6年生そして、先生によるキャッチボールをデモンストレーションとして行いました。全校児童にもグローブを使ってもらえるよう、これから体育委員会を中心に考えていきます。

前田鎌利先輩から



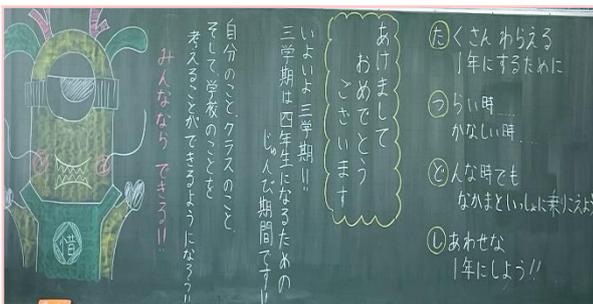
母校のために揮毫
してくださいました。



「今はやっていないけど、大谷選手にグローブをもらって野球をやってみたいと思いました」(3年男子)



…各クラスでは…



「冬休みの友」の〇付けや直し、3学期の目標を書いているクラスもありました。

3年生は自分たちで作った「冬休みかるた」で楽しんでいました。



担任の先生からのメッセージで新年スタートしました。

